

計画の廃止候補路線 美江寺鷺谷線の見直しについて - H21.12 -

美江寺鷺谷線について

現在の計画

都市計画道路 美江寺鷺谷線は、昭和 21 年の戦災復興計画を機に市街地の骨格を形成する道路として決定されました。当時は、東別院の西側までの延長約 530m の計画でした。
現在の計画は、昭和 42 年に美江寺町 2 丁目～鷺谷町を起終点とする計画延長約 690m に延伸され、未改良区間の計画幅員は 15m としています。



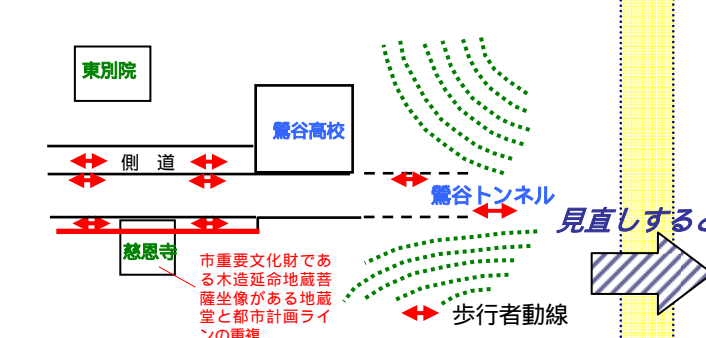
整備状況

都市計画道路 美江寺鷺谷線は、岐阜市中心部に位置する美江寺観音を起点とし鷺谷町を終点とする、県道岐阜各務原線（鷺谷トンネル）を介して東部地域や南東部地域を結ぶ道路です。
現在、東別院から終点の鷺谷高校までの約 90m の区間が未改良です。

見直しの理由 B: 「まち資産」グループ

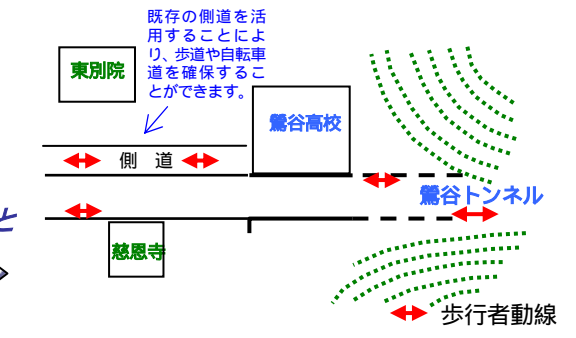
見直し区間の周辺には、多くの神社や仏閣が分布しており、地域の歴史や文化などの地域資源を後世へ継続していくまちづくりを目指していく必要があります。
当地区に位置する慈恩寺というまちづくり資産を保存・活用する観点から、当該区間を「廃止候補区間」とします。
当該区間の交通機能は、現在の 2 車線の車道により確保され、さらに北側の側道により歩行者や自転車等の通行機能を果していると考えられます。（北側の側道も、県道岐阜各務原線です。）

都市計画を見直さない場合



現計画による整備により、両側に歩道が設置されることになり、歩行者や自転車利用者には使い易い道路とすることができます。
慈恩寺などのまちづくり資産を失うこととなります。

都市計画を見直す場合



歴史的・文化的に重要な慈恩寺などまちづくり資産を保存・活用することができます。
南側の歩道は従来通りの幅員となります。（ただし、地先の方の通行や緑道への動線は確保できます。）

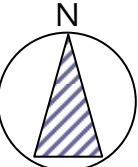


慈恩寺 慈恩寺の地蔵堂には、本尊である木造延命地藏菩薩坐像（市重要文化財）が安置されている。その様式から藤原時代後期の作と推定される。
木造芭蕉像（市重要文化財）は、寄木造で木目が美しく、伊賀上野にある俳聖殿の芭蕉像に次ぐものともいわれる。
鷺谷トンネル…東進側は昭和 22 年開通、西進側は昭和 47 年に開通。
側道…県道 岐阜各務原線の一部。鷺谷高校生の通学路として利用されている。

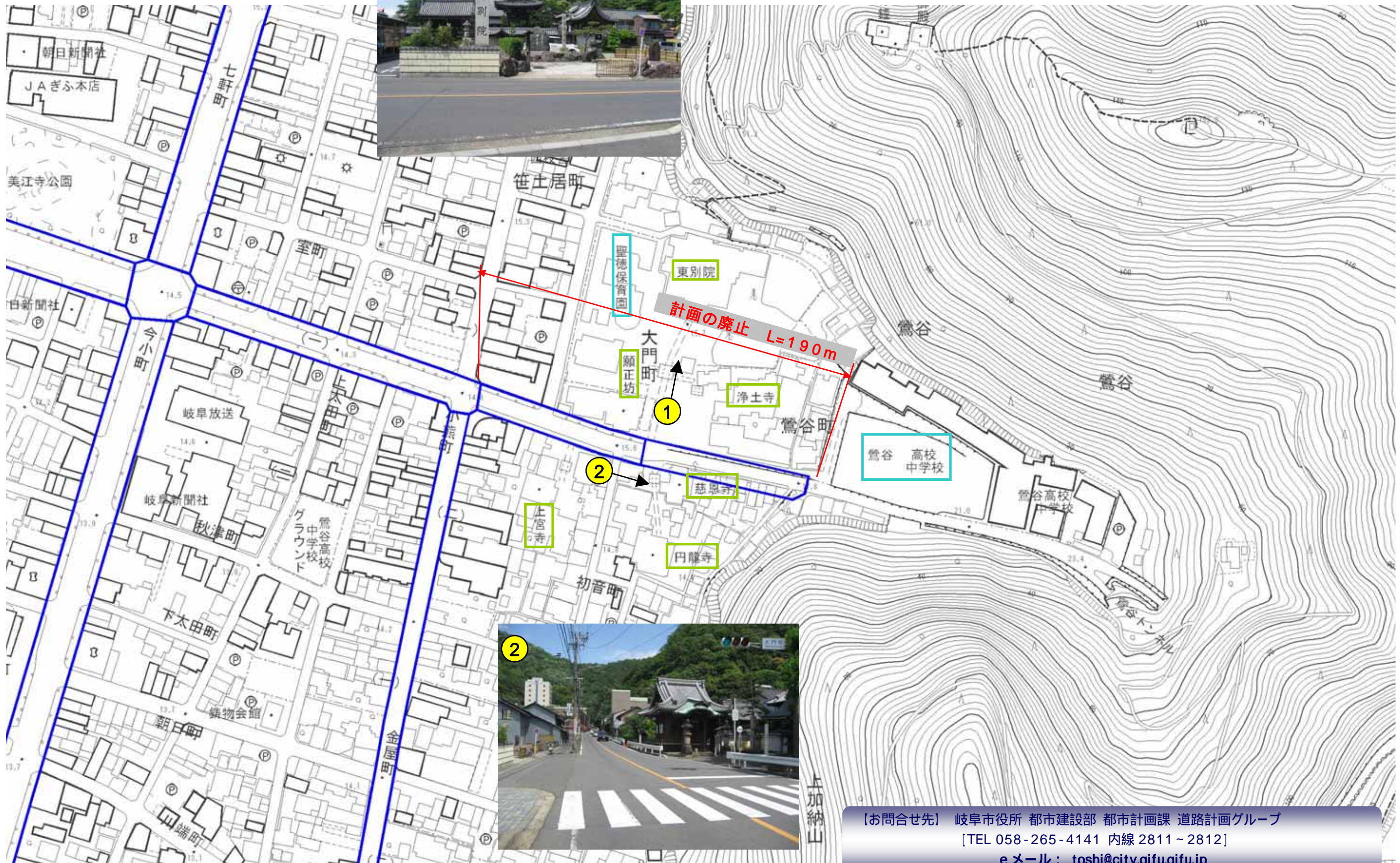
見直し（案）の内容

御鯨街道との交差点（小熊町 2 丁目）から終点の鷺谷町までの延長約 190m（改良済区間約 100m を含む）の区間を「計画の廃止」をすべき区間と考えます。





図面・現況写真



【お問合せ先】 岐阜市役所 都市建設部 都市計画課 道路計画グループ
[TEL 058-265-4141 内線 2811~2812]
eメール: toshi@city.gifu.gifu.jp